

# VC1280

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATEN ジャパン株式会社において、VC1280 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2019年7月25日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
EMC に関する情報.....	3
RoHS.....	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般 .....	4
ラックマウント .....	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>10</b>
概要.....	10
特長.....	11
セットアップの計画.....	12
システム要件 .....	12
注意事項.....	12
対応製品.....	12
製品各部名称 .....	13
フロントパネル .....	13
リアパネル.....	14
トップパネル.....	15
<b>第2章 ハードウェアのセットアップ.....</b>	<b>16</b>
VC1280 ユニットの取り付け.....	16
壁への取り付け.....	16
ラックへのマウント.....	17
VC1280 ユニットの接続 .....	18
<b>第3章 操作方法.....</b>	<b>19</b>
入力モードの選択 .....	19
ソース入力操作 .....	19
ソース切替ボタン.....	20
RS-232 コマンド .....	20

第4章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	21
はじめに	21
ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード	21
事前準備	22
アップグレードの開始	23
アップグレードの成功	25
アップグレードの失敗	25
ファームウェアアップグレードのリカバリー	26
付録	27
製品仕様	27



## EMC に関する情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による注意:**本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠しています。操作は下記2つの条件下で行わなければなりません。

- (1) 本製品は有害な電波障害を引き起こしてはならない。
- (2) 本製品は、自身が受けた、いかなる障害も受け入れなければならない(この障害には、意図しない操作の原因となる障害を含む)。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は屋内でのみお使いいただけます。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

VC1280 の 製品パッケージには、下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ VC1280 2ポート HDMI/VGA→HDMI コンバータースイッチ(4K 対応) ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ RS-232 ターミナルブロック ×1
- ◆ クイックスタートガイド\* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、VC1280 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

**第1章 はじめに:**VC1280 を紹介します。特長、機能概要、セットアップに関する注意事項、および製品各部名称について説明します。

**第2章 ハードウェアのセットアップ:**VC1280 を手早くかつ安全にセットアップする手順について説明します。

**第3章 操作方法:**ソース切替ボタンと RS-232 コマンドを使用したソース入力操作と、その制限事項について説明します。

**第4章 ファームウェアアップグレード:**お使いの VC1280 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

---

**注意:**

- ◆ 製品本体や、接続機器に対して損傷を与えないように、必ず、本マニュアルに記載されている内容に従ってセットアップや操作を行うようにしてください。
- ◆ ATEN では新規仕様を反映させたファームウェアや関連ドキュメントを定期的に Web サイトに公開しています。本製品に関するアップデートの詳細は、Web ブラウザから下記 URL にアクセスして、ご確認ください。  
<https://www.aten.com/jp/ja/>

---

## マニュアル表記について

---

[   ]                    入力するキーを示します。例えば[Enter]は Enter キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.                        番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆                        ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→                        矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

ATEN VC1280 は、HDMI および VGA ソースを 1 台の HDMI ディスプレイまたはプロジェクターに接続するだけの、ユーザーフレンドリーなデバイスです。VC1280 は、HDCP 1.4 に準拠しているほか、HDMI 1.4 (3D、Deep Color、4K (3840×2160@30Hz)) にも対応しています。また、VC1280 には VGA 変換機能が組み込まれており、追加のアダプターやスケーラーを使用せずに VGA 信号を HDMI 出力に送信できます。

VC1280 には、HDMI、VGA、および AUTO といった 3 種類のソース切替モードがあり、リアルタイムで使用するためのプッシュボタンを用いて、素早く直感的に切り替えることができます。VC1280 は、AUTO 入力モードで動作すると、最初に検出された入力を HDMI ディスプレイに送信します。そして、信号を検出すると、新たに接続されたソースへと自動的に切り替えます。

ソフトウェアやドライバーのインストールが不要な VC1280 は、使いやすいマルチ入力 A/V スイッチです。これは、切替を自動的かつ迅速に行いたいと考えるユーザーに理想的な製品です。VC1280 を使用すると、チームメンバーと簡単に協業できるため、作業効率を向上させることができます。



## 特長

---

- ◆ HDMI/VGA ソースデバイス各 1 台を HDMI ディスプレイ 1 台に接続
- ◆ VGA 信号を HDMI 信号に変換して出力
- ◆ ソースは 3 種類のモード (HDMI/VGA/AUTO) でプッシュボタンを使って簡単に切替
- ◆ HDMI 1.4 (3D、Deep Color、4K)、HDCP 1.4 準拠
- ◆ 解像度 - 最大 4K (3840×2160@30Hz)
- ◆ RS-232 チャンネル転送 - ファームウェアアップグレード用にシリアルターミナルまたはシリアルデバイスに接続可能
- ◆ 自動切替に対応 - VC1280 は新規に接続されたソースに自動切替
- ◆ CEC 対応
- ◆ プラグアンドプレイ - ソフトウェアやドライバーのインストールは不要
- ◆ 高い品質と耐久性を誇るメタルケース

## セットアップの計画

---

### システム要件

VC1280 の製品本体をセットアップする前に、下記のアイテムをご用意ください。

- ◆ HDMI/VGA ソースデバイス×1
- ◆ HDMI ケーブル×1
- ◆ HDMI 表示装置×1

### 注意事項

- ◆ 最大ケーブル長は延長の各部分によって変わります。

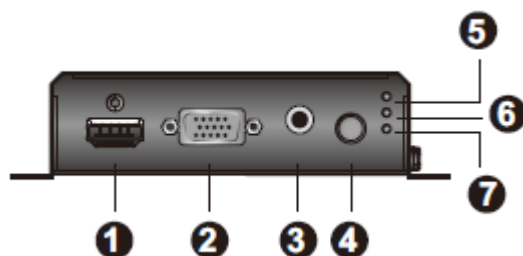
接続	インターフェース	最大距離
コンピューターから VC1280 まで	VGA	1.8 m
	HDMI	3 m
VE1280R からディスプレイまで	HDMI	3 m

### 対応製品

VC1280 は、幅広い ATEN ビデオ分配器、ビデオスイッチャー、およびビデオエクステンダーのトランスミッターと互換性があります。詳細は弊社公式ホームページをご覧ください。

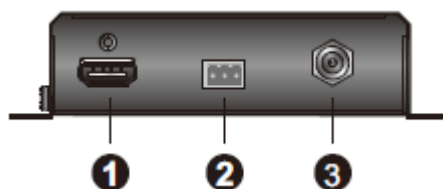
## 製品各部名称

### フロントパネル



No.	名称	説明
1	HDMI 入力ポート	ソースデバイスの HDMI 出力ポートに接続します。
2	VGA 入力ポート	ソースデバイスの VGA 出力ポートに接続します。
3	オーディオ入力ポート	ソースデバイスのオーディオ出力ポートに接続します。
4	ソース切替ボタン	このボタンを押すと、自動切替、HDMI、および VGA 入力モードを切り替えます。詳細については、p.15 の「トップパネル」を参照してください。
5	自動 LED	LED がオレンジ色に点灯している場合は、VC1280 が AUTO モードであることを示します。詳細については、p.19 の「ソース入力操作」を参照してください。
6	HDMI LED	LED がオレンジ色に点灯している場合は、VC1280 が HDMI モードであることを示します。詳細については、p.19 の「ソース入力操作」を参照してください。
7	VGA LED	LED がオレンジ色に点灯している場合は、VC1280 が VGA モードであることを示します。詳細については、p.19 の「ソース入力操作」を参照してください。

## リアパネル



No.	名称	説明
1	HDMI 出力ポート	ディスプレイデバイスの HDMI 入力ポートに接続します。
2	RS-232 ポート	PC やコントロールシステムなどの RS-232 メインコントローラーに接続します。
3	電源ジャック	電源アダプターに接続します。

## トップパネル

ユニットのトップパネルには下図のように LED が付いています。LED 表示の詳細については、下表を参照してください。



No.	LED	表示	説明
1	VGA 入力 ステータス LED	グリーンに点灯	VGA 信号は安定しています。
2	HDMI 入力 ステータス LED	グリーンに点灯	HDMI 信号は安定しています。
3	電源 LED	グリーンに点灯	ユニットは給電されています。

**注意:** 電源 LED とリンク LED が同時に点滅している場合、ファームウェアのアップグレードが進行中であることを示します。

## 第2章 ハードウェアのセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.4 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 必要な機器すべての接続が終わるまで、VC1280 に電源を入れないでください。

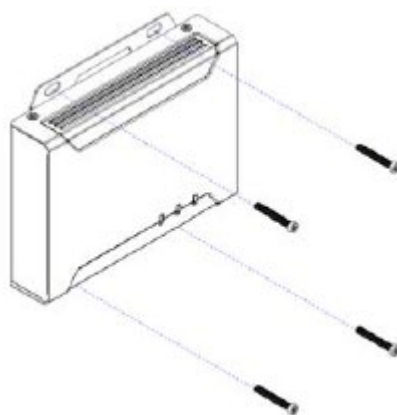
### VC1280 ユニットの取り付け

---

VC1280 は、壁やラックに取り付けることができます。

#### 壁への取り付け

製品本体に一体化しているブラケットをネジで固定するか、この部分を突起物に引っかけるかして、製品本体を壁に取り付けてください。



## ラックへのマウント

VC1280 をラックにマウントする場合は、ラックマウントキット「VE-RMK1U」をお使いください。このオプション品に関する詳細は、下記のサイトにアクセスして、ご確認ください。

<https://www.aten.com/jp/ja/products/>

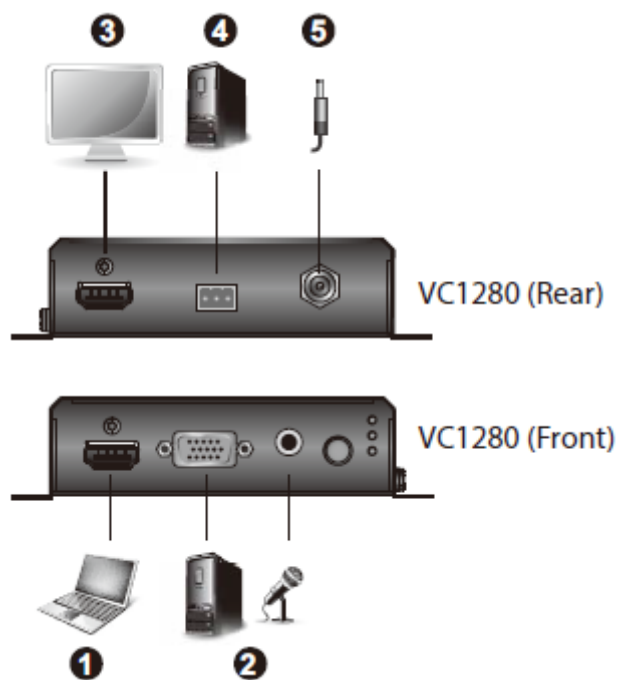
---

**注意:** ブラケットを壁面やラックに取り付ける際に必要となるネジは、製品パッケージに同梱されていません。マウント用のネジは、お手数ですが、お使いの環境に適したものを別途ご用意ください。

---

## VC1280 ユニットの接続

下記の手順に従って、VC1280 をソースに接続し、必要に応じてその他のコントロールを接続してください。



1. HDMI ケーブルを使用して、VC1280 の HDMI 入力ポートをビデオソースデバイスの HDMI 出力ポートに接続してください。
2. VC1280 の VGA 入力ポートを、VGA ケーブルを使用してビデオソースデバイスの VGA 出力ポートに接続してください。
3. HDMI ケーブルを使用して、VC1280 の HDMI 出力ポートを HDMI ディスプレイ/プロジェクターの HDMI 入力ポートに接続してください。
4. (オプション)RS-232 シリアル伝送および RS-232 コマンドによるソース切替制御の場合は、コンピューターまたは制御システムを VC1280 のターミナルブロックに接続してください。
5. 電源アダプターのケーブル部分を VC1280 の電源ジャックに接続してください。



# 第3章 操作方法

## 入力モードの選択

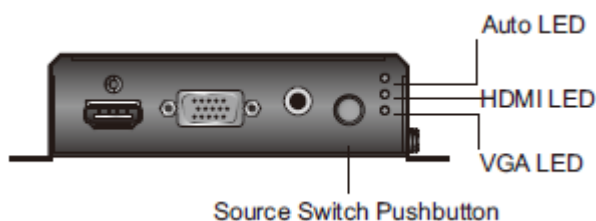
### ソース入力操作

VC1280 のソース切替ボタンを押すと、異なる入力モード(AUTO、HDMI、VGA)の間で切替を行います。詳細は下表を参照してください。

入力モード	説明
AUTO(自動)(デフォルト)	VC1280 は次のように動作します： <ul style="list-style-type: none"><li>◆ HDMI 入力ポートと VGA 入力ポートの両方が同時に接続されている場合に、HDMI 伝送を優先します。</li><li>◆ 接続されているレシーバーは新たに検出された入力へと自動的に切り替えます。</li><li>◆ HDMI/VGA 入力ポートのどちらかが切断されると、残りのポートに自動的に切り替わります。</li></ul> <b>注意:</b> AUTO 切替モード(自動入力切替)のこの機能は、RS-232 コマンドを使用して無効にすることができます。詳細については、p.20「RS-232 コマンド」を参照してください。
HDMI(オレンジ色に点灯)	VC1280 は、接続されているレシーバーにのみHDMIソースを送信します。
VGA(オレンジ色に点灯)	VC1280 は接続されたレシーバーに対して、VGA ソースとそのオーディオ入力のみを送信します。

## ソース切替ボタン

フロントパネルのソース切替ボタンを押すと、入力モードを、自動切替(AUTO)、HDMI、およびVGAの各モードに切り替えます。



## RS-232 コマンド

入力モードは、RS-232 コマンドで変更できます。使用可能なタスクおよび対応するコマンドの一覧については、下表を参照してください。

タスクを実行するには、対応するコマンドを入力してください。例えば、自動切替を有効にするには、「swmode next」と入力し、[Enter]キーを押します。

タスク	コマンド		
	制御	入力	ポート
自動入力切替を有効にする	swmode next	N/A	N/A
自動入力切替を無効にする	swmode off	N/A	N/A
ユニットを HDMI モードに設定する	sw	i	01
ユニットを VGA モードに設定する	sw	i	02
現在の入力モード設定を表示する	read	N/A	N/A

### 注意:

- ◆ [Enter]キーを押すとコマンドが実行されます。
- ◆ 現在の入力モード設定は、自動切替(AUTO)、HDMI、およびVGAの各LEDでも示されます。

# 第4章

## ファームウェアアップグレード ユーティリティ

### はじめに

---

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティの目的は、VC1280 をアップグレードするための簡単なプロセスを提供することです。このプログラムは、各デバイスに固有のファームウェアアップグレードパッケージの一部として提供されます。

新しいファームウェアバージョンが利用可能になると、新しいファームウェアアップグレードパッケージが Web サイトに公開されます。弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)にて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

### ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード

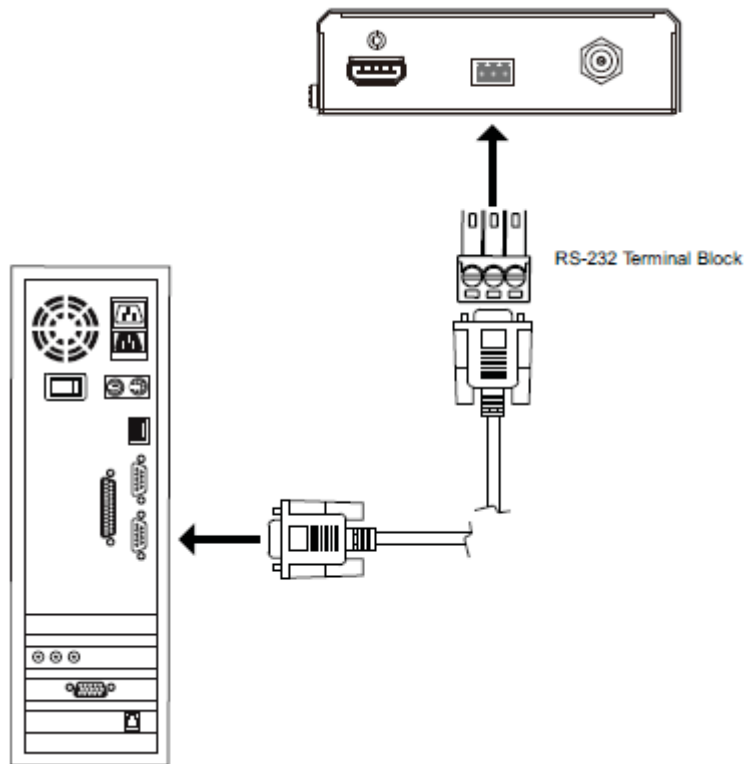
ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードするには、次の手順に従って実行してください。

1. 弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)にアクセスし、ファームウェアアップグレードパッケージのページに移動してください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページ右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。そうすると、使用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストが表示されます。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新)を選択し、コンピューターにダウンロードします。

## 事前準備

ファームウェアのアップグレードの準備をするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. RS-232 ケーブルを使用して、コンピューターの COM ポートと VC1280 の RS-232 シリアルポートを、製品パッケージに付属の RS-232 ターミナルブロック経由で接続してください。



2. VC1280 の電源アダプターを抜いてください。
3. ソース切替ボタンを押して、電源アダプターを VC1280 に接続し、ユニットに電力を供給してください。
4. 成功すると、VGA、HDMI、および電源ステータスを示すステータスLED が点滅を始めます。これで、次のページで説明するアップグレードプロセスを開始できます。

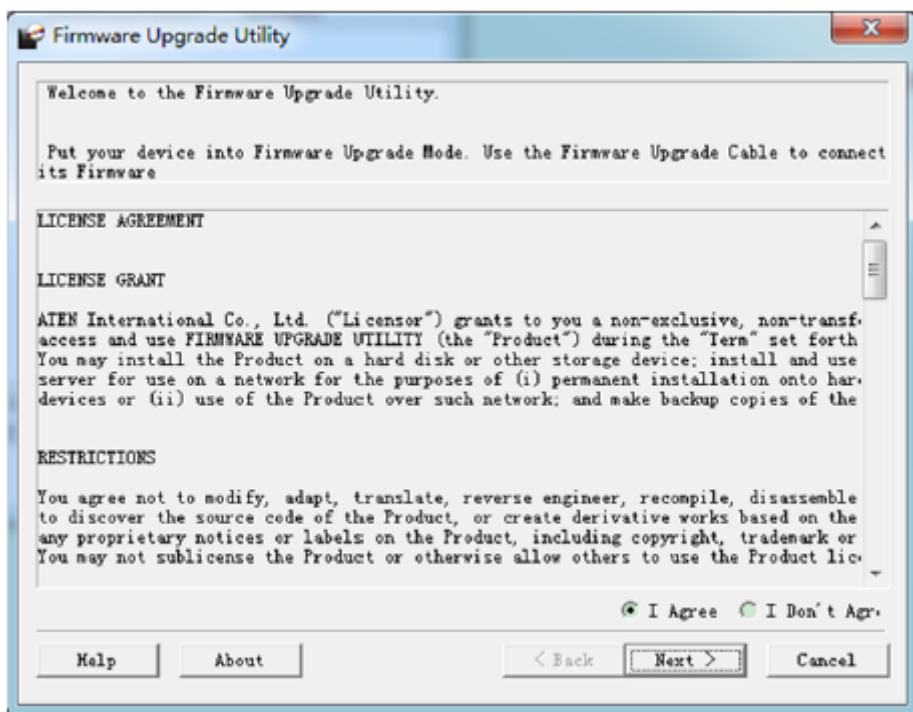
## アップグレードの開始

---

ファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行するには、ファイルアイコンをダブルクリックしてください。

ファームウェアアップグレードユーティリティの「Welcome」(ウェルカム)画面が表示されます。

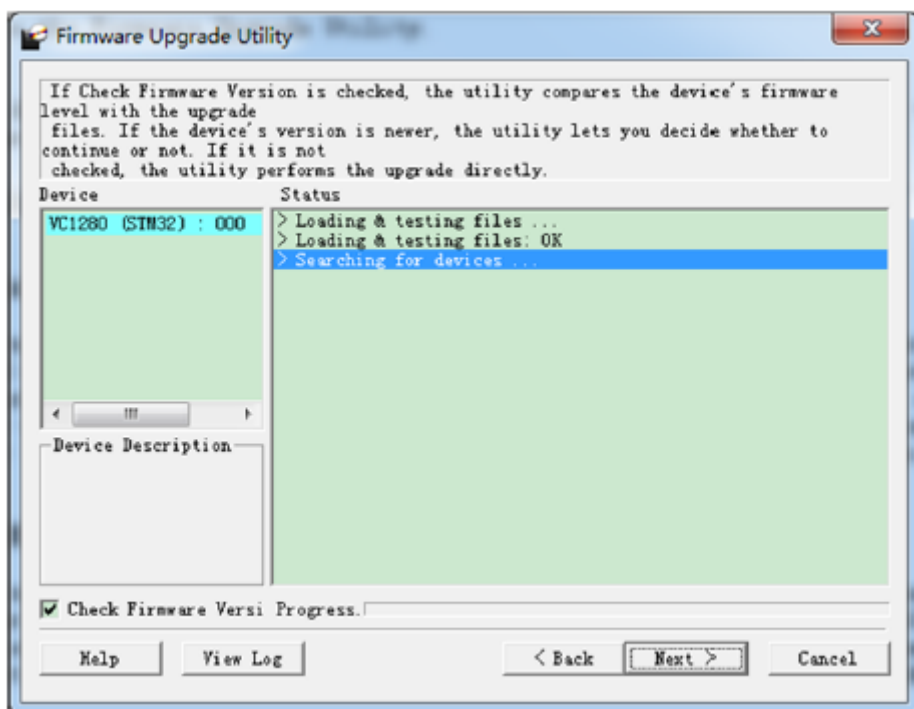


---

**注意:** このセクションに表示される画面は参考用です。ファームウェアアップグレードユーティリティによって表示される実際の画面の表現とレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

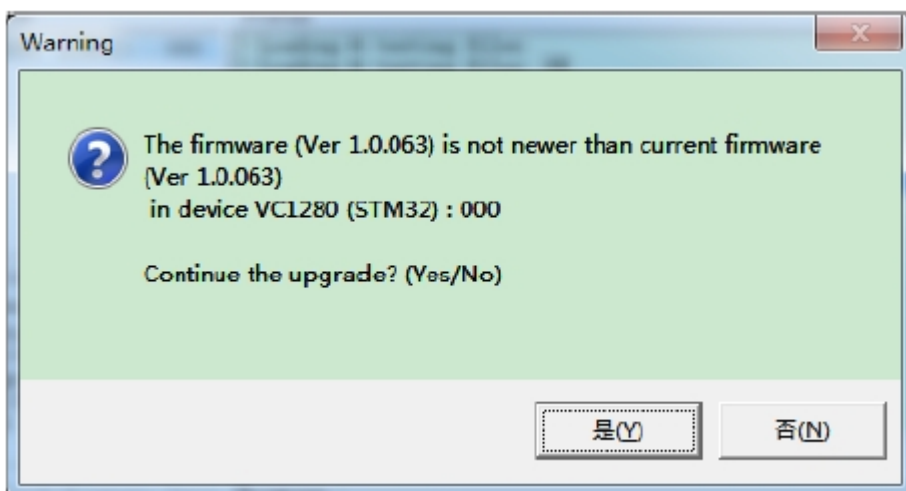
---

2. 使用許諾契約を読んで、「I Agree」(「同意する」)ラジオボタンをクリックしてください。
3. 「Next」(次へ)をクリックして先へ進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。アップグレード可能なデバイスが「Device List」(デバイスリスト)パネルに表示されます。



4. 「Next」(次へ)をクリックしてアップグレードを実行します。アップグレード中は、ステータスLED、VGA、HDMI、および電源が点滅します。

「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する)の項目を有効にした場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアバージョンとアップグレードファイルのファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合、状況を通知するダイアログボックスが表示され、続行またはキャンセルのオプションが表示されます。



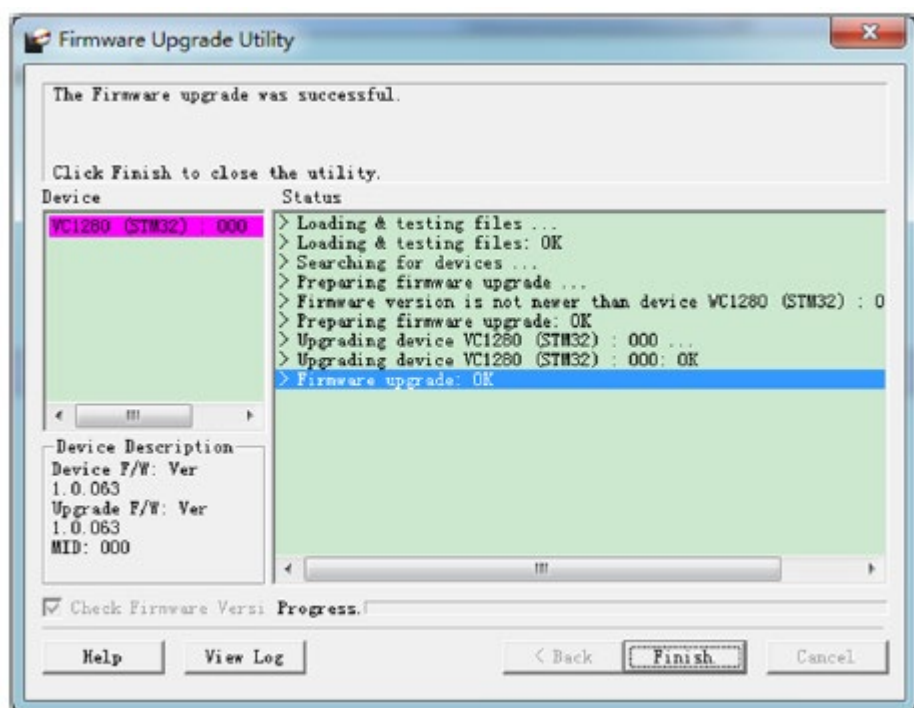
「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する)を有効にしなかった場合は、

アップグレードファイルのバージョンにかかわらず、アップグレードファイルがインストールされます。ステータスメッセージが「Status Message」(ステータスメッセージ)パネルに表示され、完了までの進行状況が「Progress」(進行状況)バーに表示されます。

## アップグレードの成功

---

アップグレードが完了すると、すべてのポートLEDが点滅を停止し、手順が正常に完了したことを通知する画面が表示されます。



「Finish」(完了)をクリックして、ファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

## アップグレードの失敗

---

「Upgrade Succeeded」(アップグレード成功)画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に完了しなかったことを意味します。続行する方法については、次のセクション「ファームウェアアップグレードのリカバリー」を参照してください。

## ファームウェアアップグレードのリカバリー

---

下記の条件下では、ファームウェアアップグレードのリカバリーを行う必要があります。

- ◆ ファームウェアのアップグレードを手動で中止した場合
- ◆ メインボードのファームウェアアップグレードに失敗した場合
- ◆ I/O ファームウェアのアップグレードに失敗した場合

ファームウェアアップグレードリカバリーを行うには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. デバイスの電源を切ってください。
2. RS-232 ケーブルを RS-232 シリアルポートに接続してください。
3. アップグレード手順を繰り返してください。



# 付録

## 製品仕様

機能	VC1280
<b>ビデオ入力</b>	
インターフェース	HDMI Type-A メス×1 (Black) D-sub15 ピン メス×1 (Blue)
インピーダンス	HDMI: 100Ω VGA: 75Ω
最大距離	1.8m - VGA (1920×1200) 3m - HDMI (3840×2160@30Hz)
<b>ビデオ</b>	
最大データ伝送速度	10.2Gbps (3.4Gbps/レーン)
最大ピクセルクロック	340MHz
規格準拠	HDMI 1.4 (3D、Deep Color、4K) HDCP 1.4 準拠 CEC
最大解像度/距離	<b>ビデオ入力</b> 3m - HDMI (3840×2160 @30Hz) 1.8m - VGA (1920×1200) <b>ビデオ出力</b> 3m - HDMI (3840×2160 @30Hz)
<b>オーディオ</b>	
入力	HDMI Type-A メス×1 (Black) ステレオミニジャック メス×1 (Green)
<b>コネクタ</b>	
電源	ロック式 DC ジャック×1 (Black)

(表は次のページに続きます)

機能	VC1280
<b>制御</b>	
RS-232	ファームウェアアップグレード&制御: コネクター:3 極ターミナルブロック×1 ボーレート:19200 データビット:8 ストップビット:1 パリティ:なし フロー制御
<b>スイッチ</b>	
ビデオ入力ポート選択	ソース切替:HDMI / VGA / AUTO プッシュボタン×1
<b>LED</b>	
ステータス	LED(フロント - ソース切替:AUTO / HDMI / VGA) × 3 色:Orange LED(トップ - HDMI / VGA / POWER) × 3 色:HDMI - Orange / VGA - Orange / Power - Green
<b>消費電力</b>	DC5V:1.8W
<b>動作環境</b>	
動作温度	0~40℃
保管温度	-20~60℃
湿度	0~80% RH、結露なきこと
<b>ケース</b>	
ケース材料	メタル
重量	0.43 kg
サイズ(ブラケットあり) (W×D×H)	143.2×123×30 mm
サイズ(ブラケットなし) (W×D×H)	136×101×29 mm
<b>同梱品</b>	電源アダプター×1 RS-232 ターミナルブロック×1 クイックスタートガイド×1